

2020年度を振り返って

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、学生生活は一変しました。中でもオンラインのツールを活用しながら、学びの質を維持するためにさまざまな工夫を積み重ねました。

式典も新しい形へ柔軟に対応

2020年4月2日の入学式は中止となり、理事長・総長、学長が新入生へのメッセージをYouTube上で配信しました。

7月24日には1年生を対象に人見記念講堂で「新入生の集い」を対面で開催、オンラインでの同時配信も行いました。

11月9日には創立100周年記念式典を規模を縮小し対面で開催しました。



11月21日・22日の秋桜祭もオンラインで実施。たくさんの方に少しでも明るく、元気を与えたいという願いを込めたテーマ「舞-100×2020-」のもと、キャンパス内のテンプル大学ジャパンキャンパスやブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和も参加し、セミナープロジェクト、サークルなどがそれぞれの成果を発表しました。

2021年3月16日、卒業式は卒業生本人のみの出席に限定して対面で実施。式典の様子はYouTubeでライブ配信しました。同窓会代表の祝辞として、ピラミッドの前で収録された本田容子さんからのメッセージが上映されました。



オンライン授業の開始

2020年4月24日からオンラインで前期授業を開始しました。

オンライン授業の形式は、オンラインミーティングツール[Zoom]などを用いて双方向にやりとりするリアルタイム授業、事前に授業を録画して配信し教員がフィードバックを行う授業、ポータルサイトで授業の内容と課題を示し教員がフィードバックを行う授業があります。さまざまなツールの強みを活かしながら、学習内容に応じて各形式を組み合わせるなど学びの質を維持するために様々な工夫を凝らしました。



学生の環境整備に備え、オンラインでの教科書販売、送料の補助、学習環境整備奨励金をはじめとする緊急学生支援策を実施しました。

秋学期からは一部の授業で対面を再開、学生の希望や学ぶ内容に応じて対面とオンラインを両立させるハイブリッド授業を展開しました。正門、西門、10号館入り口にサーモグラフィを設置するなど敷地内での感染対策を徹底しています。



ハイブリッド授業の様子。スクリーンにはオンライン参加の学生が映る。

留学・海外研修プログラムグローバルな学びを止めない

2020年3月以降の渡航を伴う海外研修・留学プログラムは全て中止となりました。緊急帰国した一部の学生は、帰国後も現地大学の授業をオンラインで継続受講することで留学を完了しました。

後期には、代替として昭和ポストンオンラインプログラムを実施しました。語学基準を満たし学内選考を通過した学生は、TUJの単位互換プログラムに参加しました。国際学科では、中国、韓国、スペイン、ベトナムの協定校と開発したオンラインプログラムを受講しました。ビジネスデザイン学科の昭和ポストン留学は翌年度の渡航を目指して2020年度プログラムを延期しましたが、情勢を踏まえ、2021年度より昭和ポストンのオンラインプログラムを受講しています。

この他短期プログラムとして、協定大学を中心とした海外大学のオンラインプログラムの集約または共同開発を行い、語学研修や特定のトピックを学ぶプログラムを実施しました。

特色あるプログラムを続けるために

文化講座は従来と異なる形式での実施となりました。女性教養講座は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と学生の健康と安全を考慮し、人見記念講堂では開催せず、オンライン講座(動画視聴)となりました。文化研究講座についてもプログラムを修正、対面とオンラインを両立しながら実施しました。対面の受講者は人見記念講堂に入場した後、手消毒を行いました。また、座席は1席ごとに空けて間隔をとり、ソーシャルディスタンスを確保しました。

学寮研修は学科ごとに特色溢れる代替プログラムで実施。学寮同様にグループワークを通じて、学生同士の友情を深め、自主性・協調性を養いました。



学内ネットワークなどオンライン教育環境を整備

オンライン授業の増加に伴い、全学にオンラインミーティングツール[Zoom]を導入、各種Zoom講習会、オンライン授業マニュアルサイト公開、FAQサイトでのサポートを実施しました。ハイブリッド教室の整備を行いました。ハイブリッド教室は、通常とおり「教室の授業」を行いつつ「オンライン受講者」も同時に学べるよう工夫されています。

学生の登校に備え、感染対策のためにPC教室・図書館のキーボード、マウスの抗菌コーティングを行いました。また、2021年春からは外部ネットワークを2Gbpsに増速、学内外ともに今後10Gbpsを目指します。学内でのオンライン授業実施・受講環境整備のためWiFiを取り替え、強化します。

正門通りを改修

100周年事業の一環として、キャンパスの中央にユリノキ広場や並木といった緑化スペースをつくり、学生が集い、憩える空間を確保しました。また、バリアフリー等に配慮、利用者の安心・安全を確保する目的で、正門通りを従来のアスファルトからタイルに張り替えました。新しい正門通りでは地球環境保全を意識した道路仕上げ材を使用しています。



第629号 2021年5月1日

昭和女子大学

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57
編集発行人 学校法人 昭和女子大学広報部

昭和学報

SHOWA GAKUHO

TO THE NEXT 100YEARS

創立100周年を超え
新しい未来へ

昭和女子大学は2020年に創立100周年を迎え新しい世紀に踏み出しました。

コロナ・パンデミックのもとオンライン化が加速し、授業、会議の在り方も変わり、100周年記念式典、女性教養講座、秋桜祭、入学式、学寮研修、プロジェクト学修もオンラインで実施されました。2021年度は対面授業を基本としながらも、オンラインを組み合わせて、融合した新しいスタイルの教育を提供していきます。こうした変化の中で、新しい世紀の昭和女子大学はどのような教育を行っているのか、改めて検討しています。

これまで昭和女子大学は、創立者の建学の精神を伝え、伝統の諸行事を大事に守るとともに、社会の要請にこたえる人材を教育してきました。現在はグローバルとキャリア教育で高い実績を上げていますが、それは今後も重視し、さらにレベルアップするとともに新しい目標を加えていきます。

2019年に西キャンパスに移転してきたテンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)とはダブルディグリー・プログラム、科目履修のように授業を受け、正規の単位を得るプログラムだけでなく、学生同士、教職員同士の交流を進め、協働活動を通じて新しい価値を創出していきます。上海交通大学、淑明女子大と連携した新しいスタイルの教育を提供していきます。こうした変化の中で、新しい世紀の昭和女子大学はどのような教育を行っているのか、改めて検討しています。

これまで昭和女子大学は、創立者の建学の精神を伝え、伝統の諸行事を大事に守るとともに、社会の要請にこたえる人材を教育してきました。現在はグローバルとキャリア教育で高い実績を上げていますが、それは今後も重視し、さらにレベルアップするとともに新しい目標を加えていきます。



理事長・総長

坂東 真理子

学院1年制コースも2021年4月から福祉共創マネジメントコース、消費者志向経営コースでスタートしました。

新しい取り組みとして、あらゆる分野で進むDX(デジタルトランスフォーメーション)に適応し情報デジタル社会で生き抜ける人材を養成するため、数理デジタルリテラシー教育をすべての学科の学生に提供します。100周年を機に整備した昭和デジタルスクエアを拠点として、大学内外の人材とコラボし、質の高い情報を発信し、STEAM人材を育てていきます。

昭和女子大学はこうした教育を誠実に温

かい教職員を中心に、保護者、卒業生、企業、高校、地域社会など、あらゆるステークホルダーの方々の期待に応え推進していきます。そして、ジェンダー平等、格差の是正、地球環境問題など様々な社会的課題に取り組みしていくことが昭和女子大学の使命です。皆さんとともに新しい未来を切り開いていきたいと願っています。

※STEAMとは: Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics等を実社会での問題発見・解決に活かす教科横断的な教育

2021年度前期 文化講座一覧

講座番号	講演日・開始時間	講題	講師(敬称略)	種類
A1	5月1日(土) 13:10	〈100周年記念特別講座〉昭和女子大学の未来とビジョンを語る大会議	理事長・総長 坂東 真理子 他	オフライン
A2	5月1日(土) 13:10	〈100周年記念特別講座〉昭和女子大学の未来とビジョンを語る大会議	理事長・総長 坂東 真理子 他	LIVE配信
B1	5月19日(水) 15:30	〈1年生必修〉女性と健康 一幸せな生涯への知恵	静風荘病院 循環器内科医・女性外来担当医師 天野 恵子	オフライン
B2	5月19日(水) 15:30	〈1年生必修〉女性と健康 一幸せな生涯への知恵	静風荘病院 循環器内科医・女性外来担当医師 天野 恵子	LIVE配信
C1	5月26日(水) 15:30	数学とビジネス ~私のライフストーリー~	トライオールグループ取締役 会長・CEO(昭和女子大学 前理事) 鈴木 雄二	オフライン
C2	5月26日(水) 15:30	数学とビジネス ~私のライフストーリー~	トライオールグループ取締役 会長・CEO(昭和女子大学 前理事) 鈴木 雄二	LIVE配信
D1	6月16日(水) 15:30	世界平和と研究における日本の役割、若者への期待	上智大学グローバル教育センター 教授 東 大作	オフライン
D2	6月16日(水) 15:30	世界平和と研究における日本の役割、若者への期待	上智大学グローバル教育センター 教授 東 大作	LIVE配信
E1	6月30日(水) 15:30	世界の大学教育 これから必要とされる人材	テンプル大学ジャパンキャンパス 学長 マシュー・ウィルソン	オフライン
E2	6月30日(水) 15:30	世界の大学教育 これから必要とされる人材	テンプル大学ジャパンキャンパス 学長 マシュー・ウィルソン	LIVE配信

※開場時刻は、15:00です。(5月1日は12:40)

講座番号	講演日・開始時間	公演名	出演者・種目	種類
1	4月22日(木) 18:15	〈1年生必修〉春の名曲コンサート	東京21世紀管弦楽団 オケストラ	オフライン
2	4月26日(月) 18:15	劇団四季 The Bridge ~歌の架け橋~	劇団四季 ミュージカル	オフライン
3	4月27日(火) 18:15	劇団四季 The Bridge ~歌の架け橋~	劇団四季 ミュージカル	オフライン
4	5月11日(火) 18:15	オペラ「蝶々夫人」	藤原歌劇団 オペラ	オフライン
5	5月18日(火) 18:15	森麻季(ソプラノ)& N響メンバーによる弦楽五重奏 プラスピアノ	森 麻季(ソプラノ)、山岸 茂人(ピアノ)、N響メンバーによる弦楽五重奏	オフライン
6	5月25日(火) 18:15	ヘンデル: オラトリオ《メサイア》	ヘンデル・フェスティバル・ジャパン オケストラ&合唱	オフライン
7	5月27日(木) 18:15	併履座劇場プロデュース「霞」	併履座 演劇	オフライン
8	6月15日(火) 18:15	ディスニー・オン・クラシック ~夢とまほうの贈りもの~	オーケストラ・ジャパン、ヴァーカリスト:二期会 オケストラ&ヴォーカル	オフライン
9	6月29日(火) 18:15	林英哲 with 英哲風雲の会 ~林英哲演奏活動 50周年記念~	太鼓ソロ奏者・林英哲、太鼓ユニット「英哲風雲の会」、ささきフアンチエスコ(ハジケター)和太鼓	オフライン

※開場時刻は、17:45です。
※講座のスケジュール等は変更になる可能性があります。
※講座番号2と3の「劇団四季」はLIVE配信は行いません。オフラインのみの開催となります。

昭和女子大学のウェブサイトで見ることができる、歴史ある大学新聞「昭和学報」。一緒に学園の魅力を発信しませんか?企画から取材、記事の執筆が主な活動です。書くことが好きな人、初めての人でも大歓迎です。 gakuho@swu.ac.jp

昭和女子大学で可能性を広げよう



学長

小原 奈津子

昭和女子大学の創立者である人見圓吉(筆名・東明)は、第一次世界大戦後の荒廃した日本で平和で希望に満ちた世界をつくるためには、正しく、思慮深く、力強い女性の育成が必要であると考え、「世の光となろう」という教育目標のもとに学園を設立しました。それから101年後の現代、世界は著しい速度でIT化、情報化、グローバル化が進み、さらには日本では少子高齢化社会に突入しています。

本学は建学の精神を堅持しながら、新しい時代の要請に応える教育を展開していきます。情報駆動型社会といわれる現代に必要な数値情報リテラシーを身につけるために、今

年度から全学生対象にデータサイエンス科目群を開講します。大学院では社会人対象の1年制コースをスタートします。また、新しい時代の女性リーダーの育成に向けて数々のシンポジウムを開催し、国内外に発信しています。

学部新入生の皆さんは、昭和女子大学を卒業してから20年後にはどのような仕事を、どのような人になっていただいでしょうか。みなさんが将来社会で活躍するための基礎力を養うのが大学4年間の学びです。本学のすべての教育プログラムは、みなさんの能力を引き出し、伸ばすためにつくられています。

◆高度な知識・技術の修得: 一般教養科目や専門科目を自分の目標に向かって主体的に学んでいただきたいと思ひます。その実践の場としてプロジェクト学習も実施しています。

◆コンピテンシー、社会人を身につける: 社会では、知識だけでなく、課題解決力、コミュニケーション力、協調性など様々な力が求められます。学寮研修、文化講座、企業や地域と連携するプロジェクト活動やボランティア活動に参加するなかで社会人を磨くことができます。

◆国際感覚、発信力を磨く: 現代社会では、英語力に加えグローバルな視点を持つことが必要です。TUJ、中国、韓国、海外キャンパスの昭和ポストンや海外の協定大学、TUJへの留学、さらに各学科の海外研修プログラムもあります。昨年度はコロナ感染拡大のためにリアルな海外留学は実現しませんでした。今年度は再開できることを願っています。また、キャンパス内でのTUJ学生との交流でも、日常的に国際感覚を磨くこともできます。

これらのプログラムを活用して積極的に学び、体験することがあなたを成長させます。昭和女子大学の学びが皆さんの未来の可能性を大きく広げること願っています。

— 100周年事業を実施しました —

昭和女子大学は2020年、100周年を迎えました。そこで学園に関わる全ての人が未来に向けて確かな決意を固め、社会に発信するため、さまざまな事業を推進しました。

2020年11月9日
創立記念式典・100周年記念シンポジウムI
「女性リーダーは世界を変える」開催

2020年12月5日
100周年記念シンポジウムII
「必要とされる女性経営人材とその育成」開催

【その他の取り組み】
・シンボルマークを決定、LINEスタンプ作成
・記念品、贈答品の制作
・Instagramでの広報、写真コンテストの開催
・TUJと協働して国際色豊かな学食メニュー 提案
「世界食堂」
・卒業生インタビュー
「SHOWAISM~私のストーリー~」
・学園イメージソング
「For Our Dreams」を制作

— 100周年事業 今後の予定 —

2021年5月14日~6月20日
「想い出の昭和女子大学・三軒茶屋写真展」
光葉博物館にて
(土曜・日曜休館。5月16日・6月20日は開館)
※写真展の詳細はQRコードからご確認ください。





昭和女子大学で学ぶ皆さんに、将来世界で活躍してほしい。そのための環境が、「スーパーグローバルキャンパス」です。

2019年、敷地内にアメリカのペンシルベニア州立テンブル大学ジャパンキャンパス(TUJ)が移転してきました。また、本学独自の海外キャンパス、「昭和ポストン」は30年以上の歴史があり、幅広い学部、学年で活用しています。小学生から高校生が通うプリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和や、未就学児対象の駒沢パークインターナショナルスクールも本学の仲間です。学生生活に、TUJ、昭和ポストンといった、グローバルな学びの環境を活かしていきたいでしょう。

テンブル大学 ジャパンキャンパスとの連携で、 グローバルな日常に



米国テンブル大学ジャパンキャンパス(TUJ)が本学敷地内に移転し、海外に留学しなくても世田谷キャンパスに通いながら日常的にグローバルな活動に携わることが可能になりました。全学科でイベントやプロジェクトなど、TUJの学生と交流する機会があります。日本の文化と一緒に学んだり、気軽に相互の言葉でコミュニケーションを図る「日本語サロン」「英語サロン」を開催したりしています。2020年はコロナ禍で海外渡航ができなかった状況でしたが、語学・成績基準をクリアして学内選考を通過した学生がTUJの単位互換プログラムに参加したり、日本語日本文学の授業ではTUJの学生と意見交換したりする機会もありました。コロナ禍が広がる中で、スーパーグローバルキャンパスだからこその学びを継続しています。

単位認定される TUJの制度

昭和女子大学の単位として認定されるTUJの制度があります。数もジャンルも豊富な科目の中から、興味に応じて選択して履修することができます。

○単位互換プログラム

◆TUJ科目等履修

昭和女子大学の講義と並行して、TUJの正規学部の講義の一部を履修できます。

※全学科対象(語学基準あり)

◆TUJ認定留学(授業履修)

昭和女子大学に在籍しながらTUJに留学し、正規学部の講義の一部を選択・履修できます。

※全学科対象(語学基準あり)

◆TUJ認定留学(ブリッジ)

昭和女子大学に在籍しながらTUJに留学し、英語のアカデミック・スキルを養う専用コースを履修できます。

※全学科対象(語学基準あり)

○ダブルディグリー・プログラム

昭和女子大学で3年、TUJで2年、計5年間学び、昭和女子大学とTUJの2つの大学の学位を取得するものです。

※国際学部・ビジネスデザイン学科対象



[海外キャンパス]

30年超の海外拠点 昭和ポストン

Showa Boston Institute for Language and Culture



アメリカ東海岸の学園都市ボストンに、昭和女子大学の海外キャンパス「昭和ポストン」があります。米国で正式に認可を受け、1988年の開校から約13,000人の学生が学んでいます。

期間や専門分野に応じて多彩な留学プログラムがあり、 Semester留学では英語のスキルアップにとどまらず、18以上の一般・専門科目を通してアメリカについて学ぶことができます。いずれも少数人・レベル別クラス編成で集中学習できる環境が整っています。地域住民、近隣の大学との連携による活動やフィールドワークなどの機会も多く、主体的に学び続ける力を身につけられます。

留学がカリキュラムに含まれている学科は、昭和ポストンで学んだのちに、そのまま協定校への認定留学へステップアップすることも可能です。留学がカリキュラムに含まれていない学科は、春期、秋期15週間の留学プログラムに英語力を問わず参加できます。単位認定されるので休学せずに留学することができます。そのほか、夏季・春季休暇中の期間を利用した短期研修もあり、全ての学生に海外留学を経験できるプログラムを用意しています。

24時間体制のセキュリティを備えた全寮制のキャンパスには、プールやジム、カフェテリアなどの施設も充実しており、RA(レジデント・アシスタント)という現地の大学院生や社会人が一緒に暮らし、日本語が話せる看護師やカウンセラーとともに海外での快適な環境をサポートしています。



休暇を利用して オンライン留学にチャレンジ

昭和女子大学の海外キャンパス「昭和ポストン」や海外協定校と連携し、夏季・春季休暇を利用して語学や異文化体験ができる【短期留学プログラム】を提供しています。2020年2月に実施した「昭和ポストン2週間オンラインプログラム<実践英語入門>」には16人の学生が参加しました。

参加した学生は「授業での発言や課外活動で現地の方との会話を通して自信をもって自分の意見を英語で発表することができるようになった」、「昭和ポストンでの授業方法や雰囲気などが分かり、留学に行きたい!という意志が強まった」と話しています。国内から気軽に参加でき、渡航して参加する従来のプログラムと比較して経済的な負担が少ないことも魅力です。

昭和ポストンに通う社会人・協定校の学生とオンラインで話す言語交換LEPP

昭和女子大学は、学生が海外の大学生や社会人等とお互いの言語を使用して相互学習・交流するプログラム「Language Exchange Partner Program」を立ち上げ、コロナ禍で

リアルな留学ができない中、学生たちが積極的に参加しました。このプログラムでは週に1回1時間程度、海外協定校の日本語学習者と昭和女子大学の学生がオンラインでペアとなり、日本語と相手の言語で対話します。20年度は英語と韓国語のプログラムを開催しました。英語プログラムは、本学のボストンキャンパス「昭和ポストン」で日本語講座を受講している社会人・大学生や地元の高校から募集しました。韓国語は、協定校である韓国・淑明女子大の学生です。ペアは、昭和女子大学国際交流センターが語学の習熟度を中心に、学年や趣味などを考慮してマッチングしました。韓国語のプログラムに参加した健康デザイン学科3年生・奥木田瑠菜さんは「教科書等にはない、現地での実際の会話」を聞くことができた。コロナで渡航ができない中でも現地の文化や流行なども学べた」と語り、LEPPでペアを組んだ相手とはプログラム終了後も交流を重ね、友情を深めています。



TUJの学生と共にアートを学ぶ 合同授業「コミュニティーアート」

昭和女子大学とTUJでは、両大学の学生が1つの授業を合同で受ける「コミュニティーアート」を2020年9月から12月まで開講しました。TUJが敷地内に移転して以来初めて共同で開講する授業です。TUJと昭和女子大学がともに利用する10号館の教室を中心に授業を行いました。

この授業では、アートで地域課題を解決し、地域の新たな価値を生み出す「コミュニティーアート」の概念や実践例などを学ぶと同時に、両大学の学生が4つのチームに分かれ、アートイベントの企画・実行などのさまざまなプロジェクトに取り組みました。

集大成として各チームが英語・日本語のバイリンガルで、各プロジェクトの成果を発表しました。



担当教員の一人である歴史文化学科の木下亮教授は「語学学習とは異なる、クリエイティブで刺激に富んだ交流になった。授業時間外でも双方の学生が意見交換をし、一緒に課題解決に取り組みながら成果をまとめることができたのは印象的。問題意識をもった提案ができていた」と語り、両大学の学生同士が熱心に協力した点を評価しました。

シンポジウム 「日本の未来、世界の未来： グローバル社会に生きる責任」 7月10日(土)開催

昭和女子大学(SWU)はテンブル大学ジャパンキャンパス(TUJ)、プリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和(BST)とともに、今年7月10日、BST-SWU-TUJ シンポジウム「日本の未来、世界の未来：グローバル社会に生きる責任」を開催します。3校の学生が多文化について話し合います。最新情報は本学ウェブサイト。

で、卓越した学びを提供しています。昭和女子大学の学生の皆さんにもTUJのキャンパスで授業を履修し、さらにはダブルディグリー・プログラムの取得にも挑戦していただきたいと思っています。TUJの活動にぜひ参加し、米国、日本、世界の様々な国から集まった学生達との交流の輪を広げてください。

テンブル大学ジャパンキャンパスとは1982年に日本で開校した日本初の海外大学の分校。日本にいなからアメリカの大学の準学士号、学士号、修士号、博士号が取得できる唯一の大学です。TUJではアメリカだけでなく世界約60の国や地域の学生たちが学んでいます。港区内のオフィスビルに点在していましたが2019年秋、本学敷地内に移転しました。

TUJ 学長あいさつ

これまで米国国内の二つの大学で学長を務めた上で、自分の東京での原点に立ち返り、TUJでの学長を任されることに、私は大きな魅力を感じました。これまで培った幅広い経験を活かして、世界の上位350校にランクする大学の分校を率いるだけでなく、昭和女子大学の学生の皆さんと真に国際的な環境で一緒にできることを楽しみにしていました。才能と意欲にあふれる学生を多文化な環境の中で教育するにあたり、TUJでは学生ファーストを貫いています。また、米国の高等教育における伝統と現代の実践に基づき、「参加型」教育、研究、個々を尊重したケア、そしてグローバル社会への機会提供を通じ



Matthew Wilson
Dean of Temple University Japan
マシュー・J・ウィルソン
法務博士 / テンブル大学ジャパンキャンパス 学長
2003年から2009年までTUJでロースクール・ディレクター、上級副学長/副学長/顧問弁護士を歴任。その後ワイオミング大学ロースクール副学部長、アクロン大学ロースクール学部長、学長、ミズーリ・ウェスタン州立大学学長を経て、2020年9月よりテンブル大学ジャパンキャンパス学長

コロナ下でも「昭和ポストン」の 日米会話交流ボランティアに参加 学報委員 井上由葉

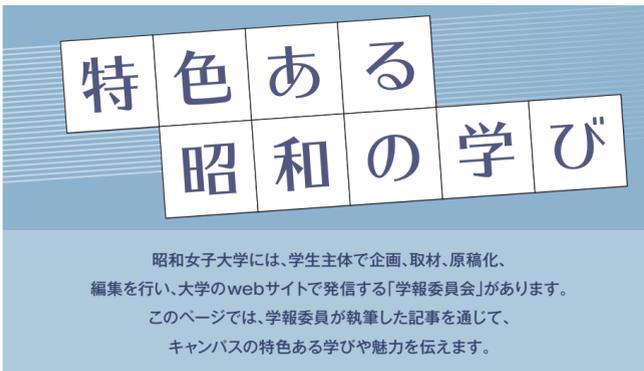
「昭和ポストン」では、アメリカの社会人や大学院生向けに日本語講座を開いています。昭和女子大学の学生が、受講生たちと日本語と英語で交流するボランティア活動を行っています。コロナの影響でオンライン講座が続いており、私はボランティアとして昨年10～12月、毎週1回、現地時間の夜、日本時間の朝にZoomで参加しました。日本人とアメリカ人が一対一または一対二で行うペアワークがあり、毎回40分ほどアメリカ人に日本語を教えたり、日米の文化について話し

合ったりしました。英語を母語とするアメリカ人にとって日本語の語順や数の数え方などに違和感があり、アメリカ人は「日本語の方が複雑だ」と言います。そこで毎回、ボストンの先生から届くファイルをもとに日本語の「複雑な」点を説明するための資料を作りました。図書館で日本語を学ぶ本を借り、私自身でも勉強になりました。現地の医療関係者や日本への留学を予定している学生などや、海外の人から見た日本を学ぶことができ、新たな日本の魅力に気づかされました。コロナの影響でオンライン留学になりましたが、日本にいなから世界の人と繋がることはできます。この機会を最大限に活かしていきたいと思っています。



世界中の協定校に留学する

アジア、北アメリカ、ヨーロッパを中心に43の海外協定校があり、半年から1年の留学が可能です。認定留学は全学生が対象(一部学科指定)で、留学期間を含めても4年間で卒業することができます。2020年度は一部協定校ではオンライン授業の受講が可能となり、渡航を伴う留学同様に単位が認定されました。この他にも、語学や特定のトピックについて学ぶ短期プログラムも実施しています。2020年度：英語でSDGsについて学ぶ「チェンマイ大学 夏季オンラインプログラム」、中国・韓国の学生と女性のリーダーシップを考える「日中韓プログラム」、「アラルカ大学春季スペイン語学研修」等。



学寮研修を オンライン代替プログラムで実施 TUJとも連携—日本語日本文学科

学報委員 石井七海

昭和女子大学には、3泊4日の宿泊研修を通し、協調性・責任感・奉仕の精神などの社会性を養う独自のプログラム「学寮研修」の伝統がある。2つの学寮研修施設があり、2020年度の人間文化学部日本語日本文学科の1・3年生は望秀海浜学寮(千葉県館山市)へ、2年生は東明学寮(神奈川県大井町)に行く予定だったが、コロナウイルスの影響で、宿泊を見送った。初めてのオンライン開催になった学寮研修をレポートする。

◎1・3年生

2020年11月4日、12月19日、日本語日本文学科の1年生・3年生合同オンライン学寮研修が行われた。

学寮研修には、学科企画という各学科の特色溢れる企画があり、教員と運営委員の学生たちが企画を立て、当日の運営を担う。今回の学科企画は、「君に届け! ヒプリオプロジェクト」。おすすめの本を、1・3年生合同の5人ほどの小グループで紹介し合い、そこで決まった代表者が30人ほどの小グループで紹介し、さらに代表者が1・3年生全体の約230人の前で発表した。

運営委員長3年河野那奈子さん「異例のオンラインでの開催となり、直接顔合わせのできない状態で、運営委員長として全体の指揮をとることは難しく、思い悩むことも多々ありました。しかし、運営委員の仲間や先生方から支えられ、運営委員長として最後まで走り続けることが出来ました。この経験は改めて私に、仲間の尊さを教えてくれました。今は他者とのつながりを持ちづらい状況ではありますが、そのような事態だからこそ気づけることも多いと思います。今回の学寮は、その気づきを得るきっかけとして、少しでも皆さんの中に何かを残してきてほしいなと思います」



◎2年生

2年生は2020年12月2日、12月16日に学寮研修を行った。

今回は、日本文化に関心のある留学生に向け、日本語日本文学科を紹介するという企画だった。

ターゲットは、昭和女子大学に隣接するTUJ(テンプレ大学ジャパンキャンパス)の日本語学科の学生だ。日文に入った理由、1年半学び今何に関心を持っているか、今後何を勉強したいか、日文の魅力、以上の4つを踏まえ音声入りのPowerPointを作成した。

1日目は発表してグループごとに代表を決め、アドバイスをし合いフラッシュアップをした。2日目は各チームの代表が発表をし、ベスト3を決めた。実際にTUJの学生からもコメントをもらい、交流を持つことができた。まさに、今のご時世に必要なオンラインスキルやプレゼンテーションスキルを磨いた。2年生は、後期の最後にゼミ選択の時期となる。その前に、今までの学びを見つめ直す機会になった。

2021年度、私は4年生になる。日本語日本文学科では4年次の学寮研修は希望制となっているので、今年で必修の学寮研修は終わりだった。最後の学寮研修がこのような形で行われたのは少し寂しい気持ちもあったが、3年間参加し続けられて良かったと思う。今回、初めての参加となった1年生や、2年生の後輩たちが伝統を引き継いでほしい。

昭和女子大学創立 100 周年記念 「女性リーダーは世界を変える」 シンポジウム 開催

学報委員 菅原瑞季

昭和女子大学は2020年11月9日、創立100周年を記念して公開シンポジウム「女性リーダーは世界を変える」をオンラインで開催した。今春メディアで初めてジェンダー平等宣言をした朝日新聞社が共催し、全国各地から約1,000人が視聴した。

最初に、坂東眞理子理事長・総長が「リーダー像のパラダイムシフト」をテーマに基調講演を行った。続いて「未来志向のリーダーとは」をテーマに、シンポジウムではパネリストとして、花王株式会社の澤田道隆社長、ポストンコンサルティンググループ・マネージング・ディレクター&シニア・パートナーの秋池玲子氏、さらに卒業生である永山祐子建築設計代表の永山祐子氏をお招きし、大きく変化する時代に期待される女性リーダーのあり方を考えた。

女性リーダーを増やすためには

まず、基調講演で坂東理事長・総長が、女性リーダーが少ない現実において男女ともに「アンコンシャス・バイアス」があり、これをなくすることが大前提であると強調した。また、女性リーダーを増やすメリットとして、男性では気づかない細かなところに気づくと澤田社長が述べた。

基調講演とシンポジウムを通じて、女性リーダーを増やすために重要なこととして、大きく次の二点が印象に残った。

第一に、「子供は母が育てるべき」という日本のアンコンシャス・バイアスを失くすべきだという指摘だ。澤田社長は、「そのためには会社全体で女性リーダーをサポートし、人が育つ環境を与えることが重要だ」として、具体的に自社の取り組みを紹介した。

第二に、子育てにおいて「いかに周りを巻き込むか」が重要であるという点だ。二児の母でもある永山氏はプロジェクトを進行し

ながら同時に出産を経験している。坂東理事長も基調講演で「私一人で頑張りますではなく、助けを求め、助けを与える姿勢が大事になってくる」と強調した。

未来志向のリーダー

今後求められるリーダー像として、「ただ、ついておいでというリーダーではなく、一緒にこの状況を乗り越えて行こう、一緒に学んでいこう」という姿勢をもったリーダーが求められるという。

なかでも印象的だったのは、永山氏が出産前と今を比べると、事務所の規模が二倍三倍になったと話していたことだ。というのも、部下に仕事を任せると、それぞれみんなが自分がやらなくては、この人に頼り切ってはダメだという意識が高まったり、一人一人の責任感が強まり、効率が上がったりした結果だという。

本講演を視聴して

私は、現在の日本社会に広まっているアンコンシャス・バイアスが自分にもあり、そのために自分でも意識しないうちに諦めている部分があることに気づかされた。それは就職活動をする上でも表れていて、心のどこかで、どうせ女性はどこかでキャリアをストップして働かなければいけないのだろうと考えていた。そのため、育休制度の充実した企業を探しながら、自分のキャリアを熟考していた。

「諦めてなにもしないと世界は何も変わらない。自分たちの行動で変えていくしかないんだ。アンコンシャス・バイアスを壊していき、社会課題に取組み、現実を変えるリーダーが求められている。私にはこの坂東理事長の言葉が響いた。女性だからという理由でキャリアを諦めるのは違う。男女関係なく互いや周りが尊重できる環境づくりを、今後も自分たち自らが考えていくことが重要だと今は考えている。

授業「アートマネージメント」オンラインでアートイベントを創出する

学報委員 安部葉南

昭和女子大学では2021年1月9日、「アート・マネージメントコンサート ~クラシックギターと過ごす特別な時間~」をオンラインで開催した。主催は人間社会学部現代教養学科で、同学科開講の「アート・マネージメント」の受講生が企画し、クラシックギタリストの木村真一朗さん、フルーティストの高橋麻由さんが出演した。

「アート・マネージメント」は、文化の創り



手(芸術家)と受け手(鑑賞者)をつなぐ役割を担う。現代教養学科で2007年度から専門科目「アート・マネージメント」を開講し、20年度は4学部7学科から2~3年生21人が履修している。音楽事務所「ソナーレ・アートオフィス」を運営する金子哲非常勤講師と現代教養学科の福田淳子准教授から、前期(4月~7月)にアートの催し物を開催するための基礎知識を学び、後期(10月~2月)に授業の集大成としてクラシックコンサートを開催する。授業を通じて企画・プログラムの決定・チラシ作成から当日の運営まで全てを体験する。

20年度のコンサートには2つの特徴がある。1つ目はなんといっても、オンラインで視聴できることだ。開演時間は決まっているが、どのタイミングで視聴するかは自分次第



UBS 社プロジェクト 「Edutainment」完了 楽しく投資を学び、 金融リテラシーを身につける

学報委員 山田有瑠奈

皆さんは投資をした経験はありますか？

おそらく、「興味はあるけどやり方がわからない」「上手く投資できるか不安」など、投資に挑戦しにくいと感じている方が多いのではないのでしょうか。そんな悩める学生に向けて、「女子大学生が投資に踏み出す」はじめての一步を応援するを目的とした【UBS社プロジェクト Edutainment(エデュテイメント)】が2月、オンラインで開催されました。

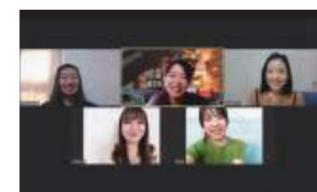
企画・運営するのは、グローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科5人です。この日のために、約1年半前から準備してきました。グローバル金融機関UBS(本社・スイス)は、

国連の持続可能な開発目標(SDGs)の「ジェンダー平等」において、世界各国で女性と金融との距離を近づけるための活動を行っています。その取り組みに賛同したメンバーが、UBSの協力で、投資について楽しく学ぶ「エデュケーション(教育)」と「エンターテインメント」を組み合わせた「Edutainment」はじめ、4回のイベント・講義を行ってきました。昨年10月に開催した第1回Edutainmentでは投資についての興味を促し、今回の第2回は「興味から実行へ」を掲げて行われました。

第一部「エデュケーション」では、UBSウェルズ・マネージメント本部、三井住友信託銀行から講師を迎えました。株式と債権の違いや株価に関する金融の基礎知識から、資金調達をする際に必要な投資期間、リターン、リスクの許容度、信用力の重要性などまで幅広く学びました。

第二部「エンターテインメント」では、16タイプ・パーソナルカラーアナリストを招き、「Zoom(オンライン)で盛れるファッション」をテーマにしたファッション講座が開催されました。デモンストレーションを見て、ウェブを通してでも色によって変化する印象に気づくことができました。

イベントには他大学も含めて、のべ430人の学生が参加しました。投資への興味を持つきっかけとなり、知識を得ることができ、とても充実したプロジェクトでした。



だ。アーカイブで何度でも繰り返し視聴でき、お昼のひととき、寝る前にお気に入りの曲を再生するなど、自由に楽しめる。

2つ目の特徴として、20年度は、異なるコンセプトで2回の公演を企画した。11時30分から始まる第1回公演は「ここからはじめよう」をコンセプトに、クラシックにあまり馴染みのない方でも楽しめるポップスを中心にした構成で、クラシックギターとフルートのアレンジで楽しめる。

15時から始まる第2公演は「もっとたのしもう」をコンセプトにしている。クラシックの名曲やギターの祖先であるリュートの組曲などを中心に、クラシックファンにも満足していただける内容になっている。どちらか1回の公演だけでも、2回とも聴いていただいてもそれぞれ楽しめるように工夫

している。コンサートは学内外とわず、どなたでも視聴できる。



大学院が目指す社会人教育 専門職の人材開発と マネジメント、消費・経営系 1年制コースを開講

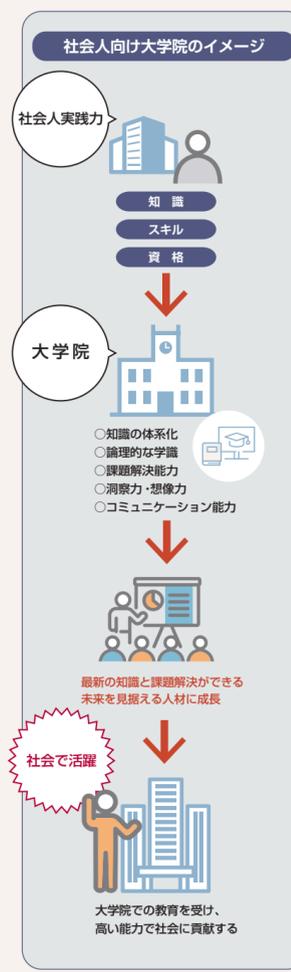
大学院では、2021年4月に社会人向けに働きながら1年間で修士号を取得できる1年制コースを開講しました。社会人に向けて多様なキャリア教育を提供することが目的です。

保育・医療・福祉経営と 消費・経営の1年制コース

福祉社会研究専攻では、保育・医療・福祉分野の経営者、管理者(リーダー)、行政担当者を養成する「福祉共創マネジメントコース」(保育・医療・福祉経営)と、新しい消費生活に対応した企業と消費者のinteractionを学ぶことができる「消費者志向経営コース」(消費・経営)を開講し、次世代を担う高度人材を育成します。「消費者志向経営コース」では、修士号のほか「マスター消費生活アドバイザー」の資格取得が可能です。夜間・土曜日の開講とオンライン受講との併用で、仕事と両立できる柔軟な就学、修士号取得の機会を提供します。

公文書管理の専門家 「アーキビスト」を養成

さらに2022年4月、生活文化研究専攻では国立公文書館が認証するアーキビスト(Archivist)*を養成するプログラムを計画中で、社会人の学びの場を拡げていきます。このプログラムも1年制コースで受講ができます。
※アーキビスト：公文書館、図書館、博物館などのアーカイブズ(Archives)諸機関において、文書の評価・選別・廃棄・保存を職務とする専門職員



2020 年度 STUDENTS OF THE YEAR TEACHERS OF THE YEAR を表彰

人見記念講堂で2月10日、2020年度のSTUDENTS OF THE YEAR、TEACHERS OF THE YEAR受賞者が発表され、表彰式を行いました。STUDENTS OF THE YEARはボランティアなどの善行や外部コンペティションや国際的な競技大会の成績など年間の学内外での活動を評価し模範となる学生を、TEACHERS OF THE YEARは、この1年間学内外で活躍した教員を表彰するものです。

STUDENTS OF THE YEAR

加藤 結実 さん(人間文化学部 日本語日本文学科)
宮下 真季 さん(国際学部 国際学科)
加納ゼミ(租税教室プロジェクト)一同(グローバルビジネス学部 会計ファイナンス学科)
ブラデビュー応援プロジェクト一同
秋桜祭実行委員会一同

TEACHERS OF THE YEAR

木下 亮 教授 / 鶴岡 明美 准教授(人間文化学部 歴史文化学科)
ライアン・ケビン 教授(国際学部 英語コミュニケーション学科)
武藤 麻香 特命講師(総合教育センター)
渡邊 知子 専任講師(国際学部 国際学科)

キャリア支援

昭和女子大学ではキャリア支援に力を入れています。学生が職業・就業を中心に据え、自分の生き方を設計する力を身につけられるよう、4年間を通じて充実したサポートを行っています。

10年連続実就職率[※] 女子大 No.1 達成 2020年度就職活動の動向・本学の支援体制



2020年度はコロナ禍で学生の就職活動にも大きな影響が及びました。この事態に就職支援はどう立ち向かったか、キャリア支援センター長の磯野彰彦特任教授による寄稿です。

昭和女子大学を2021年3月に卒業した人たちの就職活動は、新型コロナウイルス感染の拡大の影響を受けて、厳しいものになりました。業界・業種によっては、採用数を大幅に減らしたり、ストップするところが増え、採用・選考の方法を対面からウェブに切り替えた企業もたくさんあったからです。

このため、本学のキャリア支援部・キャリア支援センターによる就職支援も、従来の対面型からZoomや動画視聴を活用するオンライン型に大きく移行せざるを得ませんでした。その中で、「面倒見の良さ」を強みとする本学がどのように就職支援に力を入れ、卒業生たちが高い就職率の実現に挑んだのかについて、以下に説明します。

オンラインに緊急シフト

コロナ対応で本学の2020年度前期の授業はすべてオンラインとなり、学生は2020年4月1日から7月23日まで構内への立ち入りが禁止になりました。これを受けて、キャリア支援センターは4月1日からの個別面談

をすべてオンラインに変更し、就職活動準備講座=写真下=や同支援講座も外部講師にお願いしてオンデマンドによる動画視聴に切り替えました。学内合同企業説明会も対面ではなく、ウェブで実施しました。



キャリア支援部・キャリア支援センターでは、就職支援が対面からオンラインに移行することで、就活生が利用する個別面談の機会が減ったり、就活講座を視聴しにくくなることのないよう、できるだけ対策を講じました。電話やメールでの対応も取り入れました。就活生を対象とした緊急アンケートを実施し、どのようなことに不安を感じているか、大学に何をしてほしいと考えているかを把握し、きめ細かい支援を実施し継続しました。



2020年5月23日には「コロナ非常時の就活」と題するシンポジウム=写真下=をオンラインで開催し、企業の採用担当者からのアドバイスを紹介したり、本学の4年生や3年生の「生の声」を取り上げました。年度後半からは、キャンパスへの立ち入りが認められ、キャリア支援センターでの対面による面談も実施しています。



コロナ禍で、就活生たちは外出する機会が減り、気持ちが沈むことも多かったと思います。企業の採用情報が入りづらくなり、就活生同士が悩みを打ち明け合うことも減りました。このような状況だからこそ、昭和女子大学の就職支援の強みを発揮するよう、私たちは心がけました。

学科とセンターが連携

具体的には、学科の先生方とキャリア支援センター職員との連携です。就活生一人一人に電話をかけ、メールを送り、主にオンラインで履歴書やエントリーシートを添削し、模擬面接を行いました。世間では、コロナで採用を中止する企業のニュースが多く紹介されますが、採用人数を増やした企業もあります。そのような情報を就活生に伝えました。厚生労働

※実就職率(97.0%)=就職者数(1,216人)÷(卒業生数(1,274人)-大学院進学者数(20人))×100

省の東京新卒応援ハローワークの就職支援ナビゲーターの協力も得ました。卒業生がお世話になっている企業の担当者の方からは「引き続き昭和女子大から良い学生を採用したい」とお声をいただきました。卒業生の理解を得て後輩たちに連絡先(携帯番号)を公開する「OG名簿」と、どのように就職活動に臨んだかをウェブ上で後輩に伝える「活動体験記」という、本学の就職支援の2つの強力なツール(手段)は、コロナ禍でより大きな効力を発揮しました。また、本学独自の社会人メンター制度に登録いただいた約300人の社会人の方々のご助言は、将来の進路について思い悩む学生たちを励ましてくれています。



本学は卒業生1,000人以上の女子大で実就職率第1位を2020年春卒まで10年連続で達成しています。2021年3月卒(2020年9月卒を含む)がどうなるかは、この原稿を書いている3月下旬の時点ではまだ分かりません。ですが、「面倒見が良い」「就職支援に力を入れている」という昭和女子大学の強みは維持できていると考えています。もうひとつ、本学の強みを紹介してください。それは「キャリア教育」です。1年次の必修科目である「キャリアデザイン入門」など、キャリアコア科目がそれに当たります。

コロナに負けない、コロナを言い訳にしない、2022年3月以降に卒業予定の学生たちも頑張っています。

【昭和女子大学を卒業後、一歩踏み出して行動し続ける女性を紹介するシリーズ】

ノーベル平和賞に輝く 国連世界食糧計画で働く

エジプト・カイロのWFP北アフリカ中東地域事務局の情報管理部ユニット長
1998年英米文学科=現・英語コミュニケーション学科=卒



本田容子さん

カイロでZoomインタビューに答える本田さん

世界の飢餓と貧困と闘う国連世界食糧計画(WFP)に2020年ノーベル平和賞が贈られました。エジプト・カイロのWFP北アフリカ中東地域事務局の情報管理部ユニット長を務める本田容子さんに話を聞きました。(1998年英米文学科=現・英語コミュニケーション学科=卒)

家族と聞いた受賞の知らせ

ノーベル平和賞の知らせは、イエメンの同僚からのメッセージで知り、家で長女(8)、長男(6)と一緒にテレビ中継を見ました。WFPは日本など各国政府の任意拠出で運営されている国連組織です。ノーベル賞は、世界中で最も困難な状況に置かれている人々に、より目を向ける必要があると再確認する意味があると思いました。



エジプト人の夫、長女、長男とアスワンにて

世界へ発信する 役目を担う

WFPはイタリア・ローマに本部があり、世界約80か国でスタッフ約1万9000人が働いています。多くは危険地域ですが、ここカイロは家族連れで赴任できる拠点の一つです。エジプト人の夫と一度はお互いの国で生活したいと、2016年にローマ本部から異動しました。

情報管理部で、中東、北アフリカ、中央アジア17か国のWFP事務所から送られてくる情報を集約して、本部の緊急危機管理部に送ります。情報は各国のオペレーションの方針決定や、組織幹部が各

国政府との交渉、会議を行う際に使われます。同時に、外部への情報発信もしています。WFPや国連人道問題調整事務所(OCHA)のウェブサイトで各国の状況やWFPのオペレーションの現状を紹介しています。例えば、シリアでは490万人に食糧支援を行っており、内容を誰でも知ることができます。年次報告書やローマ本部への説明なども行うこの部署には、エジプト、ドイツ、イタリア、ロシア、アメリカなど様々な国からのスタッフがいます。

きっかけは異文化 コミュニケーションの授業



留学先の昭和ポستنで友人、アメリカ人の寮監、スタッフと(前列左端が本田さん)

昭和女子大学で「異文化間コミュニケーション」や「国際関係論」の授業をとり、異文化に触れたくて、在日外国人に日本語を教えるボランティアに参加しました。たまたま担当したフィリピン人女性の家にホームステイしながら、様々な場所に連れて行ってもらいました。印象に残っているのは、当時、スモークマウンテンと呼ばれていたマニラ北部にある、煙のたつスラム街の巨大なごみの山です。生まれて初めて貧富の格差を目の当たりにして、自分が置かれてきた環境と比較し、身が引き締まる思いがしました。この時「将来は開発関係の仕事に就きたい」と思うようになりました。

国際開発の仕事に就くには修士号と専門性が足りないことがわかり、大学卒業後、イギリスのマンチェスター大学に留学し、開発経済学のディプロマを取り、翌年、農村開発管理と経済学修士号を取得しました。大学院卒業後、日本政策投資銀行でリサーチアシスタントに就き、膨大な英語の資料を読み込んでレポートにまとめる力や農村金融の知識など、後につながる能力を指導して頂きました。2年後に晴れて外務省のJPO試験に合格し、WFPモザンビークの国事務所へ赴任、農村開発のプロジェクトに3年間携わりました。WFP勤務17年目になりますが、モザン



2015-2016年度、ローマ人事部採用担当時、ジュニア・プログラム・オフィサー(若手職員)と(右から3人目が本田さん)@Liyuan Xiao

ビーク事務所であつたアンゴラ人の同僚は子どもが二人いるのに、毎日、夜遅くまで仕事をしていました。どうしてそこまで頑張るのか聞いた時に返ってきた言葉が忘れられません。

“Hunger cannot wait.” 「空腹は待てないのよ」——彼女は獣医師でしたが、内戦のために国内避難民となり、WFPの食糧支援により生き延び、その後、WFPの職員になったのでした。WFPにはこのように現地の人を一番に想い仕事をする職員が沢山います。3年後に正規職員になり、アフガニスタンのカブールで資金調達や食糧パイプラインの任務を担当しました。

人と人の つながりを大事に

アフガニスタンはイスラム教の国なので、通常、男性は母子家庭の家に入れません。プロジェクトの視察の際は、女性の私だけが中に入れてもらうこともありました。ある時は、家の中にいた母親が私の手を取って、戦争で夫をなくし母子家庭でいかに苦労したかを語り、「WFPの食糧のおかげで教育にお金を回せるようになり、娘が学校に通えるようになった」と話してくれました。当時は危険と隣り合わせで緊張の連続でしたが、チームの一体感、やりがいに、大変だと感じたことはありません。

WFPは緊急時に食糧支援を届けるとともに、地域社会と協力して栄養状態の改善と強い社会基盤づくりに取り組んでいます。現在、私は、将来管理職になるための準備として、リーダーシップ育成の研

修を受けています。チーム一人一人の個性をどう伸ばしていくか、私の反応の仕方でもチームの活躍が変わっていくか、真のリーダーになる為には自分のどの要素を伸ばさなければいけないか、などを色々な方面から勉強しています。



多様な国籍、文化の中でお互いの違いを尊重してチームを作りあげる。16か国の国事務所がカイロに集まる年に一度の合同研修。

学生時代は 好きなことにチャレンジ

大学生の皆さん、大学時代は、ボランティア、留学、アルバイトなど、興味あることに思いっきり挑戦して、色々な経験を積んでみてください。一つ一つがその後の人間形成につながると思います。



アフガニスタンで食糧支援先の家庭を訪ねて

卒業生
訪問

キャリア支援プログラムの紹介

「キャリア支援3つの柱」



1 自分の生き方を設計する キャリア教育

生き方・働き方を設計する力を身に付けるために、各学年ごとにキャリアデザインの力を養うための必修・選択授業「キャリアコア科目」を設置しています。



2 一人ひとりに合わせた キャリア支援プログラム

就職活動支援講座、個別面談・ライティングサポート、インターンシップなど、キャリア支援センターでは個人に合わせたきめ細かいサポート体制を整えています。



3 将来なりたい自分に出会う 社会人メンター制度

幅広い分野で多様なキャリアを積んだ社会人と直接出会い、対話することで、自分の未来をイメージできる制度です。

学生の
取り組み

学生主体で キャリアを考える 「光葉キャリア塾」

光葉キャリア塾は、自分のキャリアを主体的に考え、本学学生のキャリア支援に役立つ学生による学科横断の有志団体です。学生主体のイベントの企画・実施、キャリアに関する調査等を行っています。2020年度は全学対象の内定者座談会や塾生によるメンターカフェの運営、業界研究成果報告会の主催のほか、塾生がオンラインで卒業生に質問するOG訪問も行いました。福祉社会学科1年の芦澤麗南さんは「多様な学年・学科の塾生同士で企画を実行できるのが魅力。1年生でもリーダーを任されるなどチャレンジの機会が豊富」と話しています。